

地域交流・地域連携 『FC ふじざくら山梨との親子サッカー教室』

1. 目的と経緯

日頃、仕事や家事で忙しく頑張っている保護者の方々に親子ふれあいの機会を作ると共に、地域にて活動している女子サッカーチームの選手と地域交流を通して体を動かして楽しんでもらいたいという目的で企画しました。このことで、地域交流と親子交流を一体化した貴重な経験をすることが出来ました。

2. 内容

FC ふじざくら山梨の選手が中心となり、怪我をしないようにストレッチ等の導入から進め、親子で手をつないで1つのボールを蹴ったり、足と足でボールをはさんだりして、ボールとふれあいました。ただ単にサッカー技術を伝授してもらうのではなく、あくまでも親子のふれあいを大切に、親子で身体を動かすことの楽しさを味わえるように選手が考えてくださった内容でした。

3. 成果と課題

地域連携としての親子サッカー教室は、初めての試みであり、参加者全員が楽しめるのか、苦手意識が先立つ保護者がいたらどうしようなどの不安がよぎりました。しかし始めてみると、不安はすぐにどこかへ飛んでいきました。

どの親子の表情を見ても笑顔があふれ、ミニゲームの時には『がんばれ！』とお互いを応援したり、得点をした時には、『やったー！』とハイタッチをして親子で喜んでいく姿がたくさん見られました。

短い時間でしたが、日々の忙しさを忘れ親子で楽しいひと時を過ごしていただけたことは何よりの成果だと感じています。

今回のサッカー教室を通して、保護者の方には『子供の笑顔は本当にかわいい・子育ては楽しい』、園児には『パパ・ママと遊ぶのは楽しい・パパ・ママ大好き』と改めて感じて頂けたら嬉しいです。

今後も地域連携、交流を視野に入れながら、継続して今回のような企画が出来ればと考えています。

